【令和２年度】

**「こころの再生」府民運動に関するアンケート　リサーチプラン**

1. **調査の背景と目的**

大阪府では、子どもたちの豊かでたくましい人間性を育むために、「こころの再生」府民運動（※）を展開。事業開始から15年が経過し、また、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中、本運動に基づき府民が期待する行動など、今後特に重点的に取り組むべきことを明らかにするため、本調査を実施する。

　　（※）大人も子どもも忘れてはならない大切な「こころ」をもう一度見つめ直し、府民一人ひとりが身近な取組み（7つのアクション）を実践することを呼びかけるもの。

　　　　　【大切なこころ（例）】「生命（いのち）を大切にする」、「思いやる」、「感謝する」、

「努力する」、「ルールやマナーを守る」

 【7つのアクション】（1）「あかんもんはあかん」と、はっきりしかろう

（2）「ええもんはええ」と、はっきりほめよう

（3）「ユーモア」を大切にしよう

（4）「あいさつ」をもっと大切にしよう

（5）「おかげさんで」をもっと大切にしよう

（6）子どもの話をじっくり聞こう

（7）地域にどんどん出ていこう

1. **調査（検証）項目**
2. 高校生に大切にして欲しいこころ
3. 「高校生の子どもがいる」府民が、高校生に特に取り組んで欲しい取組み
4. 「7つのアクション」のうち、府民が今できているもの　　等
5. **調査対象**

府内在住の、

 高校生の子どもがいる者　500名（男性250名、女性250名）

 子どもはいるが高校生の子どもがいない者　300名（男性150名、女性150名）

 子どもがいない者　200名（男性100名、女性100名）

1. **質問項目**

■予備質問　６問

SC１　性別（SA）

SC２　年齢（NA）

SC３　都道府県（SA）

SC４　市町村（SA）

SC５　子どもの有無（SA）

SC６　高校生の子どもの有無（SA）

■本質問　１６問

≪「こころの再生」府民運動全般≫

Q１　 府民運動の認知度（SA）

Q２　【知っている、聞いたことがある人】府民運動を知ったきっかけ（媒体）（MA）

Q３　【知っている人】知っている取組み（MA）

Q４　【知っている人】運動への取組みにかかる学校への評価（SA）

≪あいさつ運動≫

Q５　 あいさつ運動への評価（SA）

Q６　 あいさつに対する考え方（MA）

≪大切なこころ≫

Q７　 小学校低学年の子どもに最も大切にしてほしいこころ（SA）

Q８　 小学校高学年の子どもに最も大切にしてほしいこころ（SA）

Q９　 中学生の子どもに最も大切にしてほしいこころ（SA）

Q10　高校生の子どもに最も大切にしてほしいこころ（SA）

Q11　既存の取組みのうち、高校生にとって良い経験となるもの（MA）、最も良い経験

になるもの（SA）

Q12　一部で行われた取組みのうち、高校生にとって良い経験となるもの（MA）、最も

良い経験になるもの（SA）

　Q13　その他のアイデア（SA・FA）

≪7つのアクション≫

Q14　子どもをもつ保護者に取り組んで欲しいもの（MA）、特に取り組んでほしいもの（SA）

Q15　府民全員で取り組んでいくことが重要なもの（MA）、特に重要なもの（SA）

Q16　自分自身が今できていると思うもの（MA）

1. **検証方法**

　　項目①　SC5・6×Q7～10

　　項目②　SC5・6×Q11～13

　　項目③　SC5・6×Q14～16